

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 3 年 10 月 18 日 (18 : 00~19 : 30)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 村崎、高野、本多、谷口、川崎、北山、亀井、水谷、向岩、石森、多田、福田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0	8	3	1	12

前回の改善計画
フロアリーダーを決め、フロアリーダーは 1 日の中でミーティング時間を 10 分間設けていきます (フロアに比較的多く職員がいる時間)。それまでに各自、「ケアコラボ (ICT のソフト、以後ケアコラボと表記)」に伝達事項を入力し、話し合いができなくても申し送りを確認できるようにします。
前回の改善計画に対する取組み結果
ミーティングの時間を設けることに関しては、その日のミーティングリーダーを決めておらず、開催することがなかなかできませんでした。重要な事項、緊急を要することは随時、口頭で伝達を行いました。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	0	9	3	0	12
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	0	11	1	0	12
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	1	11	0	0	12
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1	9	2	0	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">新規ご利用者の場合、利用開始前に「ケアコラボ」で情報を確認し状態確認を行う事ができました。現ご利用者に対しては、送迎時や入浴時も含め、会話を通して状態観察を行い、変化や気付いたことを「ケアコラボ」に入力し、その情報を空いた時間に確認し共有ができました。ご利用者に目を合わせての声掛けを心がけ、気持ちに配慮した関わりができました。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">その日のミーティングリーダーを決めておらず、ミーティングの時間をあまり確保できませんでした。一方で、「ケアコラボ」に入力された申し送り欄で共有を行っていますが、記録だけでは伝わりにくい部分もありました。送迎に出る機会が少ない職員はご家族との交流があまり持たず、送迎に出る職員も限られた時間の中でゆっくりお話が聞けませんでした。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	<ul style="list-style-type: none">情報の共有に関して、「ケアコラボ」に入力した内容での共有では、見落としが多いため、短時間でも毎日ミーティングを開催し共有することとします。ミーティングリーダーを「午前入浴担当者」と決め 14 時から 15 分間、開催します。共有内容に関しては、重要なものから共有し、その他の申し送りは「ケアコラボ」の申し送り欄で共有します。「ケアコラボ」に入力していない内容は発言者が責任をもってミーティング後に入力します。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 3年 10月 18日 (18:00~19:30)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 村崎、高野、本多、谷口、川崎、北山、亀井、水谷、向岩、石森、多田、福田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0	12	0	0	12

前回の改善計画
まずは利用者毎の担当者がそのご利用者の好きなこと、嫌いなこと、得意とすること、苦手とすることの情報を日々の関わりから見つけ、「ケアコラボ」に入力します。その情報を参考に、支援の仕方・関わり方を全員で意見を出し合い、更にその人らしさを追求していきます。その情報も、「ケアコラボ」に記録し、共有していきます。

前回の改善計画に対する取組み結果
「ケアコラボ」への入力は、何度も練習を重ね、全員が早くから入力できるようになりました。しかし、ご利用当日の関わり方の記録がほとんどで、ご利用者の好きなこと、嫌いなこと、得意とすること、苦手とすることの情報の入力は介護が優先になり、必要な記録を入力することに時間が取られ、支援の仕方・関わり方を話し合い、更にその人らしさを追求する情報の参考までとはなりませんでした。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	0	9	3	0	12
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	9	2	0	12
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	7	5	0	12
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	0	6	6	0	12

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・自分の担当利用者の「～したい」を把握するために、カルテの再確認を行ったり、会話しながらご利用者の想いを聞いたりしました。
・その情報を活かし、ご利用者の興味のあることを、レク活動として取り組んで頂くことができました。また「ケアコラボ」を通して情報を共有することもできました。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・「ケアコラボ」に入力する記録が決まった内容ばかりになりました。
・知り得た本人の情報を、ミーティング等では共有できませんでした。
・「～したい」の情報の把握は均一ではなく、偏りが生じました。意思表示が難しい方は少なく、支援が大きい方は多くなりました。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
・「ケアコラボ」を通してだけの共有ではなく、今後時間を決めて行うミーティングで、小さな気付きも共有します。ミーティングノートは、気付いたことをいつでも書き込めるメモとして活用し、最終的なケアコラボへの記録漏れをなくします。
・意思表示の難しい方は過去の生活歴や好きなことも参考に「したい」ことを引き出します。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 3 年 10 月 18 日 (18 : 00~19 : 30)

3. 日常生活の支援

メンバー 村崎、高野、本多、谷口、川崎、北山、亀井、水谷、向岩、石森、多田、福田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0	9	3	0	12

前回の改善計画

送迎や関わりの中で得た情報は「ケアコラボ」のケア記録にすぐに入力し、全体共有が必要な内容は「ケアコラボ」の申し送り欄にも入力します。その申し送り欄は出勤時と、14時までの最低2回は確認を行い、ミーティング時にも入力した職員が報告することで確実に共有、日常のケアに活かします。

前回の改善計画に対する取組み結果

「ケアコラボ」の申し送り機能を活用しましたが、すぐに入力できない為、記録漏れや、記録があっても見落としも多く見られました。ご利用者の状態も、細かく変化していく中で、関わりと記録の入力作業が効率よくできないことがありました。

「ケアコラボ」の申し送り機能を使用すると、個人の記録として残るので、以前の書面のミーティングノートよりも活用の幅が広がりました。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	7	5	0	12
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	3	9	0	0	12
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	0	8	4	0	12
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	0	12	0	0	12
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	0	12	0	0	12

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・ご利用者の体調の変化や、ご家族から聴く自宅での様子を把握して、都度職員間で共有、体調に合わせて柔軟な支援を行うことができました。
- ・ご利用者1人1人に合った介護方法の理解は大体できています。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・「以前の暮らし方」の把握はまだ少ないと思われます。
- ・「ケアコラボ」にて、その日起きたことの入力はできていますが、声にならない声、様子、表情などの細かい変化を入力する余裕がありませんでした。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・「以前の暮らし方」については、普段の会話の中で、ご本人からお聴きするのはもちろんのこと、ご家族からの情報収集に努めます。主介護者がお嫁さんの場合、実の息子さん娘さんに文章で過去のことを記載して頂く協力も求めていきます。
- ・本人の声にならない声の把握にも努め、ミーティングや「ケアコラボ」で共有します。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 3 年 10 月 18 日 (18 : 00~19 : 30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 村崎、高野、本多、谷口、川崎、北山、亀井、水谷、向岩、石森、多田、福田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0	7	3	2	12

前回の改善計画
防災マップを作成していきながら、ご利用者のなじみの場所を見つけ出し、更なる情報収集に努めます。緊急事態の備えとして完成したマップを基に、ご利用者にも民生委員、避難場所の確認を行っていただくことで安心ある生活を送っていただきます。軒下マップを1冊のファイルにすることで、いつでもご利用者の社会資源を書き込みながら共有し、利用者と地域をつなぐ支援を行っていきます。
前回の改善計画に対する取組み結果
防災マップは作成中です。ご利用者の社会資源の把握が少なかったことに気が付きました。軒下マップのファイルを準備し見直しも行い、情報の収集を同時進行して行きました。大野市民として、各地域の避難場所の再確認も行い、職員の知識も増えました。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	9	3	0	12
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0	10	2	0	12
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	9	3	0	12
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	8	3	1	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	防災マップや軒下マップを作成することにより、ご家族とのコミュニケーションが増えました。きらめきがお休みの日のご自宅での様子やご利用者の若い頃のお話をしてくださることにより、情報の収集に繋がっています。ご利用者からもお話を、たくさん聞くことができました。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">・各ご利用者の民生委員さんを把握できませんでした。・コロナ禍のため、あまり地域の方（民生委員）の方と接する機会がありませんでした。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	<ul style="list-style-type: none">・防災マップは、引き続き、利用者・家族と一緒に作成していきます。・民生委員さんとの連携は大事であることから、区長さんに挨拶の上、民生員さんを教えて頂き、連携していきます。・その他、利用者の住む地域の方とも感染対策しながら少しずつ接する機会を確保していきます。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 3年 10月 18日 (18:00~19:30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 村崎、高野、本多、谷口、川崎、北山、亀井、水谷、向岩、石森、多田、福田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0	5	5	2	12

前回の改善計画	在宅生活を継続していくには、小規模のサービスだけでは難しいため、社会資源も活用していくことは必要不可欠です。ご利用者との関わりから得た情報は増え続けています。「軒下マップ」を1冊のファイルにまとめ、ご利用者の社会資源を書き込みながら共有し、少しずつ本人と地域との橋渡しができるよう支援していきます。
前回の改善計画に対する取組み結果	軒下マップに書き込みを始めましたが、聞いたすぐに情報を書き込むことがなかなかできず、十分な情報収集ができませんでした。口頭での共有が早いいため軒下マップへの記入まで行きませんでした。やはり、記録としてきちんと残すことは大切との意見も多く、少しずつではありますが、再開しています。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0	6	5	1	12
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	0	12	0	0	12
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	0	9	1	2	12
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	0	10	2	0	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 送迎時、ご家族に、特別な変わった様子がないかをお聞きしています。 来所後は、いつもと違う様子があれば、職員に共有し経過観察を行います。必要に応じて、ご家族、病院等への連携を行う事が出来ています。 利用者の体調、家族の用事等、必要に応じて「通い」「訪問」「泊り」を柔軟に提供しています。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 関わりの中で、変化にも気が付いても、「ケアコラボ」への入力に負われ、口頭での共有が上手くできていないことがあります。 軒下マップを作成しても、マップを見返すことができていません。 自事業所のみでの支援が中心で、地域の社会資源の活用はまだできていません。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ミーティングで、変化に気づいたら確実に口頭でも共有を行います。 軒下マップを利用した情報収集は、ご家族にも協力を得ながら地域の社会資源も記載し、今後も継続していきます。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 3年 10月 18日 (18:00~19:30)

6. 連携・協働

メンバー 村崎、高野、本多、谷口、川崎、北山、亀井、水谷、向岩、石森、多田、福田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0	9	3	0	12

前回の改善計画	コロナ禍で、外出や施設内への入館制限がかかる間には対応が難しいこともありますが、限られた中で感染防止対策を行いながら地域との関わりを継続していきます。
前回の改善計画に対する取組み結果	リスク委員会を中心にコロナ感染防止対策を行ってきました。緊急事態宣言が出るような頃は地域との関わりを持つことができませんでしたが、解除されてからは感染防止対策を行いながら、地域の方と神社清掃や、施設横の畑作業を行う事ができました。きらめき内での秋祭りとして、ZOOMを活用し地域の保育園と交流を持つことができました。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	0	5	4	3	12
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	0	4	3	5	12
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	0	4	5	3	12
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	0	6	2	4	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・家族会として、リモートでの面会を募集しました。ご家族からご希望があり県外のご家族とご利用者が久しぶりにお話することができました。 ・研修や会議もリモートで開催されることが多く、参加することができました。 ・地域の児童館の子供たちが来所し、玄関先のみで感染対策してプレゼント交換のみの交流ができました。秋祭りでは、地元のこども園さんと、初めてオンラインで交流ができ大いに楽しんで頂けました。 ・大野市の文化祭や図書館祭り等も参加できています。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・リモートでの会議などの開催はありますが、事業所への入室も制限されていたため、他の事業所職員との関わりが薄くなりました。 ・コロナ禍で、室内での園児や地域の方との交流は未だできていません。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の中で、感染対策を行いながら、地域の住民や子供たちとの交流ができる、小規模ならではの企画を考えていきます。 ・職員の知識や技術の向上の為、リモートでの研修、会議等も積極的に参加していきます。 ・医療機関や関係事業所とは、課題が発生したらすぐ連携し解決に努めます。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 3年 10月 18日 (18:00~19:30)

7. 運営

メンバー 村崎、高野、本多、谷口、川崎、北山、亀井、水谷、向岩、石森、多田、福田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0	9	3	0	12

前回の改善計画
地域との協同した取り組みについては、感染対策を徹底した上で継続し、意見を反映させていきます。利用者・家族の声については日々収集し聴いて迅速に対応することを継続します。職員の声は、ミーティング時の収集やアイデア提案制度を継続し、職員主体の運営をめざします。
前回の改善計画に対する取組み結果
コロナ禍での地域との共同した取り組みについては、開催を予定していた企画を中止せざるを得ない事もありましたが、緊急事態宣言が解除されてからは感染対策を継続してしっかり行う事により、ブルーシップ(神社の清掃活動)や、結カフェを開催することができました。利用者・家族の声については日々収集し聴いて迅速に対応できています。「ケアコラボ」を活用し、ご利用者の情報の収集を共有することができました。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	1	10	1	0	12
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	10	0	0	12
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	8	3	1	12
④	地域に必要なとされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0	5	6	1	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 毎月、ご利用者、ご家族からの声を集約しています。特に苦情に関しては即座に対応させていただき、運営に反映しています。ご意見の集約表も作成することで、声を忘れずに書き留め、積極的に収集することができるようになりました。 感染対策についてはリスク委員会を中心に、地域情勢に合わせて話し合いを重ね、全職員で決まりごとの共有を行いました。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ご利用者、ご家族から頂いた声を会議資料に掲載していますが、全職員に伝わっていませんでした。お申し出(苦情)は共有できていますが、感謝、要望については共有できていない事もありました。 コロナ禍の為、地域との関りが少なく、地域からの声を集約する機会を設けることができませんでした。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> みなさんから頂いた大切な声を運営に反映させるため、今後も声の集約シートを活用していきます。 声の共有は、資料の書面確認だけではなく、会議やミーティングで口頭での共有も行います。 コロナ禍だからこそ、感染予防対策を継続しながら、地域との協同した行事等の企画を行っていきます。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 3年 10月 18日 (18:00~19:30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 村崎、高野、本多、谷口、川崎、北山、亀井、水谷、向岩、石森、多田、福田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3	9	0	0	12

前回の改善計画
 オンライン (ZOOM) での研修が増えたことにより参加の機会が増えました。外部研修については、職員のスキルUPのために必要な研修は随時参加希望をとり、勤務の調整を行いながら参加を促していきます。内部研修については年度初めに計画を立て、職員全員が受講できるよう、勤務の調整を行います。

前回の改善計画に対する取組み結果
 内部研修については年度初めに計画を立て、勤務調整を行い、全職員が受けることができました。当日、参加できなかった職員については、「eラーニング」や「YouTube」を活用し研修を行うことができました。外部研修もオンラインで開催され、比較的、参加しやすくなりました。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	2	10	0	0	12
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	5	4	2	12
③	地域連絡会に参加していますか	1	5	2	4	12
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	2	8	2	0	12

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・コロナ禍で、オンラインでの研修が多く、また研修日程が数日に分けられており、比較的、参加がしやすくなりました。また会場への移動の時間もなくなり、業務へ支障も減少しました。
- ・地域連絡会 (地域ケア会議) については積極的に参加し、計画作成者のスキルアップにつながりました。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・オンライン研修は受講しやすくなりましたが、希望者が重なり、興味のある研修に参加することができない職員もいました。
- ・オンライン研修の場合、他の事業所との交流がもてなくなりました。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・外部研修については、スキルアップを目指すため、偏りなく参加できるよう調整します。
- ・内部研修については、「eラーニング」を継続し、人員体制に合わせて受講の調整を行い、全職員受講をめざします。
- ・オンライン研修で知り合った関係職員と研修後、関係づくりをめざします。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 3年 10月 18日 (18:00~19:30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 村崎、高野、本多、谷口、川崎、北山、亀井、水谷、向岩、石森、多田、福田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0	8	4	0	12

前回の改善計画	
ご利用者に対し尊厳ある態度、適した言葉遣いを継続するため1週間振り返りカードを準備します。内容は基本的なことを10項目決め、毎回同じ内容とし、常に意識できるようにします。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
「1週間振り返りカード」の作成ができていませんでしたが、言葉遣いについては、職員同士がお互いに直接声掛けをしながら繰り返し意識し、改善を行う事ができました。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	7	5	0	0	12
②	虐待は行われていない	7	5	0	0	12
③	プライバシーが守られている	5	7	0	0	12
④	必要な方に成年後見制度を活用している	5	4	3	0	12
⑤	適正な個人情報の管理ができている	5	7	0	0	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">内部研修で虐待やリスクマネジメント（個人情報）に関する研修を行いました。言葉遣いなどの接遇については常日頃から課題としており、職員同士の声掛けにより意識できています。書類、利用者台帳については、施錠のできる書庫にて管理できています。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">排泄介助中、必要物品を他の職員に依頼する際、大きな声でのやり取りが時々ありました。介助されているご利用者の気持ちに対して配慮できていませんでした。親しみを込めてのつもりでしたが、下のお名前と呼ばせていただいた方がいました。ご利用者のお気持ちに対しての配慮が欠けていました。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	ご利用者へ尊厳の保持、プライバシーの保護、不適切なケアの防止のために、下記のことを順守します。 <ul style="list-style-type: none">ご利用者の名前を呼ぶときは「ちゃん」付けをしない。排泄介助中、必要物品を大きな声で依頼しない。申し送りの際に、配慮すべき内容を職員間で話をしない。その他、各自、適切な言葉遣い・行動を行います。